



〔2018年8月27日～8月31日〕

1. 先週の市場動向

＜株式＞	先々週末 2018/8/24	先週末 2018/8/31	前週比
NYダウ (米国)	25,790.35	25,964.82	0.68%
日経平均株価 (日本)	22,601.77	22,865.15	1.17%
DAX指数 (ドイツ)	12,394.52	12,364.06	▲0.25%
FTSE指数 (英国)	7,577.49	7,432.42	▲1.91%
上海総合指数 (中国)	2,729.43	2,725.25	▲0.15%
香港ハンセン指数 (中国)	27,671.87	27,888.55	0.78%
ASX指数 (豪州)	6,247.33	6,319.50	1.16%
＜リート＞	先々週末	先週末	前週比
S&Pグローバルリート指数	184.30	185.09	0.43%
＜債券＞ (利回り) (%)	先々週末	先週末	前週差
米国10年国債	2.810	2.860	0.051
日本10年国債	0.101	0.107	0.006
ドイツ10年国債	0.345	0.326	▲0.019
英国10年国債	1.278	1.427	0.149
＜為替＞	先々週末	先週末	前週比
ドル円	111.24	111.03	▲0.19%
ユーロ円	129.29	128.84	▲0.35%
ユーロドル	1.1622	1.1602	▲0.17%
豪ドル円	81.52	79.82	▲2.08%
＜商品＞	先々週末	先週末	前週比
商品 (CRB指数)	192.08	192.96	0.46%
原油先物価格 (WTI)	68.72	69.80	▲1.57%

〔先週の市場の振り返り〕

＜株式＞

主要国の株式市場はまちまちの動きとなりました。米国株式市場は、緩やかな利上げ見通しが示されたことや、米国とメキシコが北米自由貿易協定 (NAFTA) 再交渉で大筋合意したことが好感され堅調な展開となりました。週後半は、米中貿易摩擦懸念が再び高まったことから伸び悩みました。NYダウは週間では0.68%上昇しました。S&P500種株価指数とNASDAQ総合指数は高値を更新しました。日本株式市場では、米国株の上昇を受けて週初から堅調な動きとなり、一時日経平均は23,000円台を回復しました。ただ、23,000円を超えると上値が重く伸び悩みました。週間では日経平均株価は1.17%上昇しました。欧州株式市場では米中貿易摩擦懸念が再び高まったことからドイツDAX指数は0.25%下落したほか、債券高を受けて英FTSE指数は1.91%下落しました。中国株式市場では、上海総合指数は米中貿易摩擦懸念が再び高まったことから小幅に下落、香港ハンセン指数は0.78%上昇しました。

＜債券＞

米国の10年国債利回りは、8月の米消費者信頼感指数が高水準となったことなどから、週間では利回りが0.051%上昇しました。英国10年国債利回りは上昇、日本とドイツの10年国債利回りはほぼ横ばいでした。

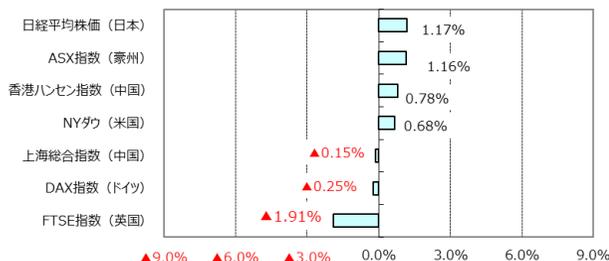
＜為替＞

円は主要通貨に対して上昇しました。対ユーロではイタリアの財政問題への警戒感などから週間では0.35%上昇しました。対ドルでも米中貿易摩擦懸念が再び高まったことから、週間では0.19%上昇しました。対豪ドルでも同様の理由で、週間では2.08%上昇しました。

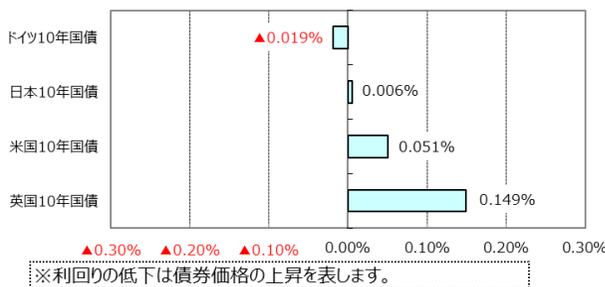
＜商品＞

原油価格は、原油在庫が予想を上回って減少したことなどから1.57%上昇しました。

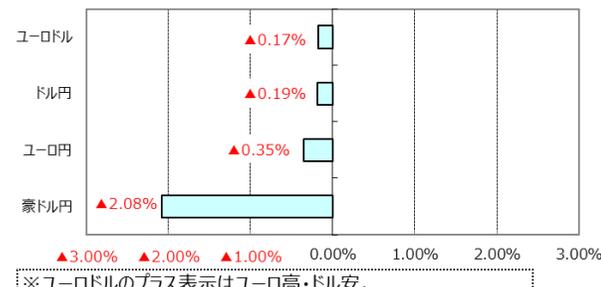
株式 (前週比)



10年国債利回り (前週差)



為替 (前週比)



(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成



【2018年8月27日～8月31日】

2. 先週のマーケット・デイリー/ウィークリー

	テーマ	ポイント
8/27 (月)	先週のマーケットの振り返り 2018年9月の注目イベント	2018/8/20～8/24 マーケットの振り返り 1. 2018年9月の注目イベント 2. 9月は政治日程に注目
8/28 (火)	9月は政治日程に注目	3. 9月は、政治日程に注目する必要があるようです。米国では、対中2,000億ドル相当の輸入品への25%の制裁関税が発動されるかが注目されます。欧州では、20日にイタリアが2019年度予算の議会への説明期限を迎えます。30日は、英国のEU離脱条件決定の目標日となっています。アジアでは、9日に北朝鮮の建国70周年が控えています。
8/29 (水)	戻り歩調にあるベトナム株式市場 堅調な経済を背景に株式市場は回復基調	1. ベトナム株は戻り歩調、堅調な景気動向を評価 2. PERの割高感が解消、EPSの増加基調は続く 3. 【 堅調な経済を背景に株式市場は回復基調が続く 】株式市場の大幅調整を経て、バリュエーション（株価評価）の割高感は概ね解消しているとみられます。株価はEPSの伸びに沿った価格形成が見込まれます。良好な経済が再評価され、国内外からの資金流入とともに、ベトナム株式市場は回復基調が続くと期待されます。
☆ 8/29 (水)	緩やかな上昇基調を辿る原油価格（2018年8月） 景気拡大に加え、協調減産が奏功して原油需給が好転	1. 価格は堅調に推移、1バレル当たり70ドル前後で推移で内需が堅調 2. 需給バランスが好転、2018年上半期は小幅な需要超過 3. 【 需給は良好だが、対イラン経済制裁の影響等に注意が必要 】需給動向から判断する限り、原油価格は今後も堅調に推移する見通しです。ただし、対イラン経済制裁や、6月下旬のOPEC総会で決定された減産緩和の影響等には注意を払う必要があります。
☆ 8/30 (木)	2つの懸念材料を抱えるユーロ圏経済（2018年8月） 米国の保護主義とイタリア財政不安の状況に注目	1. 景気は堅調さを維持、景気感の低下傾向に下げ止まり感 2. イタリアの財政悪化懸念、19年予算は財政拡張的となる見込み 3. 【 米国の保護主義の高まりやイタリアの政治不安の影響に注目 】ユーロ圏景気は、米国の保護主義による輸出などへの影響が懸念され、製造業の景気感等は下振れしやすくなっています。加えて、イタリア政府が財政拡張を進めていくと、同国債を大量に保有する銀行の損失懸念が高まることとなります。
8/31 (金)	米国経済と金融政策の見通し（2018年8月） 緩やかな物価上昇のもとで、力強い景気拡大が続く見通し	1. 景気は力強く拡大、労働市場はすこぶる好調 2. 物価は緩やかに上昇、物価上昇率はFRB目標に到達 3. 【 FRBは緩やかな利上げを継続へ 】FRBは、7月31日～8月1日開催の米連邦公開市場委員会（FOMC）で政策金利の誘導レンジを1.75%～2.00%に据え置きました。景気や物価の動向を踏まえると、FRBは3.00%程度と考えられる中立金利（景気を刺激も抑制もしない金利水準）に向けて、緩やかな利上げを継続すると予想されます。

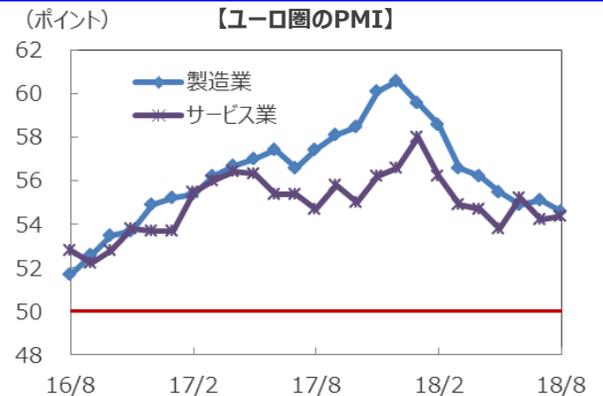
☆先週の市場動向に関連する代表的な「グラフ・図表」

☆8/29 緩やかな上昇基調を辿る原油価格（2018年8月）
景気拡大に加え、協調減産が奏功して原油需給が好転



（注）データは原油価格が2014年1月3日～2018年8月28日、
リグ稼働基数が2014年1月3日～2018年8月24日。ともに週次データ。
（出所）Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

☆8/30 2つの懸念材料を抱えるユーロ圏経済（2018年8月）
米国の保護主義とイタリア財政不安の状況に注目



（注）データは2016年8月～2018年8月。
（出所）Bloomberg L.P.、IHS Markitのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

☆ は右の「グラフ・図表」を参照。



【2018年8月27日～8月31日】

3. 今週の主な注目材料

日付	米国	日本	欧州	アジア・オセアニア・その他
9/3 (月)		4-6月期法人企業統計☆ 8月自動車販売台数 8月日経PMI製造業	英8月マークイットPMI製造業	中国8月財新PMI製造業☆ ブラジル8月マークイットPMI製造業
9/4 (火)	7月建設支出 8月ISM製造業景況指数	8月マネタリーベース	ユーロ圏7月生産者物価指数 (PPI)	ブラジル7月鉱工業生産 豪RBA金融政策決定会合
9/5 (水)	7月貿易収支	8月日経PMIサービス業	ユーロ圏7月小売売上高☆	中国8月財新PMIサービス業・総合 ブラジル8月マークイットPMIサービス業・総合 豪4-6月期GDP
9/6 (木)	7月製造業受注 8月ISM非製造業景況指数		独7月製造業受注	ブラジル8月IBGEインフレ率IPCA 豪7月貿易収支
9/7 (金)	8月雇用統計☆	7月家計調査 7月景気先行CI指数、景気一致指数 7月毎月勤労統計	独7月鉱工業生産 英8月ハリアクス住宅価格 独7月貿易収支	中国8月外貨準備高 (9/8 (土) 中国貿易収支)
☆ 今週の注目点	今後の景気や金融政策を占う上で8月雇用統計などが注目されます。	今後の景気や金融政策を占う上で4-6月期法人企業統計などが注目されます。	今後の景気や金融政策などを占う上でユーロ圏7月小売売上高などが注目されます。	中国の景気動向をみる上で中国8月財新PMI製造業などが注目されます。

※各経済指標・イベントは予定であり、変更されることがあります。

弊社マーケットレポート

検索!!

先週の注目の「マーケット・デイリー」

2018年8月30日 2つの懸念材料を抱えるユーロ圏経済 (2018年8月) 【デイリー】

2018年8月29日 緩やかな上昇基調を辿る原油価格 (2018年8月) 【デイリー】

先週の「マーケット・ウィークリー」

2018年8月27日 先週のマーケットの振り返り (2018/8/20- 8/24) 【ウィークリー】

先月の「マーケット・マンスリー」

2018年8月3日 先月のマーケットの振り返り (2018年7月) 【マンスリー】

先週の注目の「マーケット・キーワード」

2018年8月28日 『ジャクソンホール』会議、漸進的な利上げが妥当 【キーワード】



【2018年8月27日～8月31日】

【重要な注意事項】

【投資信託商品についてのご注意（リスク、費用）】

●投資信託に係るリスクについて

投資信託の基準価額は、投資信託に組み入れられる有価証券の値動き等（外貨建資産には為替変動もあります。）の影響により上下します。**基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込む**ことがあります。

運用の結果として投資信託に生じた**利益および損失は、すべて受益者に帰属**します。したがって、投資信託は**預貯金とは異なり、投資元本が保証されているものではなく**、一定の投資成果を保証するものでもありません。

●投資信託に係る費用について

ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。

- ◆直接ご負担いただく費用・・・購入時手数料 **上限3.78%（税込）**
 ...換金（解約）手数料 **上限1.08%（税込）**
 ...信託財産留保額 **上限2.40%**

◆投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用・・・信託報酬 **上限年 3.834%（税込）**

◆その他費用・・・監査費用、有価証券の売買時の手数料、デリバティブ取引等に要する費用（それらにかかる消費税等相当額を含みます。）、および外国における資産の保管等に要する費用等が信託財産から支払われます。また、投資信託によっては成功報酬が定められており当該成功報酬が信託財産から支払われます。投資信託証券を組み入れる場合には、お客さまが間接的に支払う費用として、当該投資信託の資産から支払われる運用報酬、投資資産の取引費用等が発生します。これらの費用等に関しましては、その時々取引内容等により金額が決定し、運用の状況により変化するため、あらかじめその上限額、計算方法等を具体的に記載できません。

※なお、お客さまにご負担いただく上記費用等の合計額、その上限額および計算方法等は、お客さまの保有期間に応じて異なる等の理由によりあらかじめ具体的に記載することはできません。

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、三井住友アセットマネジメントが運用するすべての投資信託における、それぞれの費用の最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面等を事前に必ずご覧ください。

●投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。

●投資信託は、クローズド期間、国内外の休祭日の取扱い等により、換金等ができないことがありますのでご注意ください。

〔2018年5月31日現在〕

三井住友アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第399号

加入協会：一般社団法人 投資信託協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。